

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教職総論	講義	2	宇賀神 一

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ:教職の意義、教師の役割・資質能力・職務内容・労働基本権などの知識や概念を修得する。そのうえで、自分が本当に教師に向いているかどうか、情熱をもって仕事に取り組むことができるかどうかを多角的に見極める。関する知識や技能を修得すると同時に、教師の仕事はどのようなものか、自分は本当に教師に向いているのだろうかなど、将来職業として教師を選択することのを考える。

到達目標:

- ①教師という職業の歴史的な変遷について、説明することができる。
- ②教職をめぐる法制や制度について、説明することができる。
- ③教職をとりまく今日的な課題を述べることができる。

【授業の概要】

この授業では、教職の意義や教師の役割、職務内容などについて理解する。教師の「仕事」の内容とそれを支えている仕組み、教師に求められているものなどについて考え、教師を目指す気持ちを確かめる。

【全体の授業計画・内容】

1. 保育士・教員になること

事前学修課題:シラバスを熟読する。教職に関するニュースや新聞に関心を持ち、情報を収集する。【1時間】
事後学修課題:授業内容に即しながら、教職に関するニュースや新聞記事を収集する。【1時間】

2. 理想的な教師像 —魅力的な教師—

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心を持ち、教師をめぐる現代の状況について情報を得る。【1時間】
事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

3. 保育者・教員と子どもの歴史に学ぶ

事前学修課題:ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心を持ち、教師をめぐる現代の状況について情報を得る。【1時間】
事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

4. 教職観の変遷

事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教師という職業の歴史的変遷について理解を深める。【1時間】
事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

5. 保育者・教員の役割とはなにか① —園・学校の経営とは?—

事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教師という職業の歴史的変遷について理解を深める。【1時間】
事後学修課題:授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

6. 保育者・教員の役割とはなにか② —園・学校での保育実践・授業実践—

事前学修課題:教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教師という職

業の歴史的変遷について理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

7. 保育・教育現場の実際① —担任になる—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教職をめぐる法制や制度について理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

8. 保育・教育現場の実際② —さまざまな子どもとのふれあい—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教職をめぐる法制や制度について理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

9. 保育・教育現場の実際③ —障がいのある子どもとのふれあい—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教職をめぐる法制や制度について理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

10. 保育・教育現場の実際④ —職場内の人間関係の大切さ—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教職をめぐる法制や制度について理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

11. 保育・教育現場の実際⑤ —悩める保育者・教員たち—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教職をとりまく今日的な課題についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

12. 保育者・教員に必要な資質能力と力量形成

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教職をとりまく今日的な課題についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

13. 保育者・教員にとって大切な職務と研修

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教職をとりまく今日的な課題についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

14. 教員養成・免許制度と保育士資格について

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、教職をとりまく今日的な課題についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

15. 試験およびまとめ

事前学修課題: 前回までの授業のレジュメをふりかえり、理解を深める。【1時間】

事後学修課題: まとめの内容をふりかえる。【1時間】

【学習のあり方】

教育者・保育者は子どもの育ちに責任があるということ、教育者・保育者である自身の行動が子どもに対して善悪交々の多大なる影響を与えることを自覚すること。その上で、子どもが育っていくことに自分がどのように関わっていくことができるのかを想定しながら、授業やグループワークに参加してください。

遅刻・欠席は「参加度合」として不適切と判断します。健康管理や早めの行動を心がけてください。疑問や質問は

授業中でも授業後でも必ずそのときに解決する習慣をつけましょう。

【成績評価】

受講態度(10%)、授業内レポート(40%)、一斉試験(50%)

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

試験などに対して、別の用紙にコメントを記入して配布する。

【テキスト】

とくに使用せず、授業時に資料を配布する。

【参考文献】

授業時に適宜紹介する。

【実務経験の有無】